

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成19年度				管理	5-10-1-2
事務事業名 安達太良ドリームライン(大山・松沢線)整備事業【馬場・根岸工区】				部等名	産業建設部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	地方特定道路整備事業	課等名
	一般	01-080203004	細々目名		係等名
政策体系	基本目標	5	安全・安心な環境のまちづくり		
	施策	10	幹線道路網(県道、都市計画道)の整備		
	基本事業名	1	幹線道路の整備		

事業概要 実施内容	事業計画に基づき幹線道路の大山・松沢線の整備をする。事業概要は、1期整備区間(国道4号線から長屋平交差点)および安達太良大橋の事業完了に併せて、周辺の市町村(二本松I.Cと船引・三春I.C)を結ぶ広域交通道路とし整備を図るものである。さらに、歩道が未整備で危険な白岩小学校周辺の通学路整備も図る。全体事業(H19~H28)内容：施工延長L=780m、幅員W=6.0/10.0mの改良舗装工事(一部橋梁区間)と用買等。本年度(H19)実施内容：用地買収・物件補償(すべての用地買収・物件補償はH21年度で完了予定)、地質調査、河川測量、改良工事【暫定盛土および法覆工事】は繰越工事(H20.5.20)となる。				
根拠法令等	道路法 道路構造令	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業		
		評価区分	<input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定(18年度~28年度)	
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費 448,000円	22 補償補填及び賠償費 30,224,000円
	7 賃金	円	13 委託料 3,466,000円	
	8 報償費	円	15 工事請負費 4,410,000円	
	9 旅費	円	17 公有財産購入費 23,402,000円	
				合計 61,950,000円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象(誰を、何を)		イ) 市民(土地等関係者も含む)及び一般道路利用者		ロ) 道路
手段(事業の具体的な内容、手順等)		活動指標名・式(アウトプット) 活動の大きさを表す指標		
認可協議(本年度申請) 要望協議(次年度概算要望) 本年度事業の執行(関係機関との協議、用地買収・物権補償、工事等の設計、契約、着手、施工管理、設計変更、検査、引渡し、支払) 改要望協議(次年度本要望) 完了実績報告		指標(1)	名称	用地買収面積・補償件数
		指標(2)	名称	式
意図(対象を、どのような状態にしたいのか)		成果指標名・式(アウトカム) 意図の達成度を表す指標		
幹線道路の整備により、地域の発展と市民の安全・安心で快適なまちづくりを促進する。現在、大山・松沢線は、幅員狭小で大型車輛等(道路利用者)の通行に支障を来しているで道路幅員を広げ、歩車道分離を図り、大型車輛の通行や学童等の安全な歩行を可能にしたい		指標(1)	名称	整備率(事業費)
		指標(2)	名称	式
事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか		当該年度までの事業費(H18~)÷全体事業費(614百万円)		
通行車輛や歩行者等の円滑で安全な通行を確保することにより、危険箇所(幅員狭小・道路屈曲)を起因とする交通事故は減少・撲滅され、安全・安心なまちづくりの環境が整備される。		当該年度までの買収延長÷全体延長(780m)		

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度(実績)	年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込み)	28年度(最終目標)	
指標	活動指標(1)	戸数				2	1	
	活動指標(2)					400	600	
	成果指標(1)	%				31.3	45.2	100
	成果指標(2)					83.3	88.5	100
投入	事業内訳	財 国・県支出金	千円			15,529	14,391	19,030
		地方債	千円			42,300	61,400	11,000
		その他	千円					
		一般財源	千円			4,121	9,402	4,570
	事業費計(A)	千円			61,950	85,193	34,600	
人件費	職員数	人				0.3	0.3	0.3
	人件費平均額(年)	千円				8,373	8,373	8,373
	人件費計(B)	千円				2,512	2,512	2,512
総事業費(A+B)	千円				64,462	87,705	37,112	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?
本線と連結する大山・松沢線の1期区間(国道4号線から和田小学校・安達太良大橋)が完了(平成16年度)したことで、今回の整備区間【馬場・根岸区間】への乗り入れ車輛が増加し、通行に支障を来して危険な状態である。
この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?
イ) 地域懇談会で事業進捗を促進(スピードアップ)して欲しいとの要望あり。
ロ) 地元議員より事業量が落ちたので改善(工事量の増加)して欲しいとの要望あり。

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
道路の新設・改修を実施することにより、道路を利用する人々の利便性(移動の効率化)を確保する。	道路管理者の責務として、道路を利用する人々の安全性・利便性を確保することは重要である。	道路管理者の責務として、道路の新設・改修等を行うことは当然であり、対象と意図は妥当である。
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
特に向上の余地はない。	道路管理者の責務として、危険な道路の改修等を行うことは当然であり、事業の中止・廃止は出来ない。	特に類似事業はないので統廃合はない。
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
最小限の経費で実施している。		事務事業として効率的に進めている。
道路は不特定多数の人々が利用するものであり公平であるため、受益者負担はもとめられない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 当初計画の事業期間は、5年程度と予定していたが、財政健全化により、事業期間を繰り延べして10年間に変更した。このことにより事業の進捗率は低下したが、時間を掛けることにより、少しでも事業内容の改善を図っていき																							
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)	(5) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(4) 改革改善案の概要 (Blank space for details)																								
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策 (Blank space for details)																								

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 評価結果の根拠と理由 橋建設についても、経費比較をして計画推進しており、適切な事業運営である。																							
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)	(4) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項 事業の早期完成を目指してコスト増額した場合、一般道路費用が抑制される。一般道路と平行して事業を進めていくため現状維持である。																								